

平成 28 年度事業計画について

当会は、平成 28 年 10 月に創立 70 年の節目を迎える。これを機に、九州・沖縄・山口の未来を拓くシンクタンクを目指して記念事業に取り組む。また当会の事業の柱である、地域経済研究事業と経済図書館（BIZCOLI）事業、講演会・セミナーは、内容を充実させながら引き続き実施していく。その他、経済団体等支援事業や社会貢献活動等を通じて広く地域貢献を行い、九州経済の発展に向けた事業を推進する。

■平成 28 年度の当会の事業構成

1. 創立 70 周年記念事業	5. 経済団体等支援事業
2. 地域経済研究事業	6. 社会貢献活動等
3. 講演会・セミナーの開催	7. 運営基盤の拡充
4. 経済図書館（BIZCOLI）事業	

1. 創立 70 周年記念事業の実施

創立 70 周年記念事業は、地域貢献の観点に立ち、九州経済の将来を見据えた次の 4 つの事業を推進していく。

- ① 「九州地域経済と九経調の 70 年史」の作成
- ② 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究
- ③ 九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催
- ④ ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

2. 地域経済研究事業

創立以来、当会の事業の柱であり、自主研究と受託研究を両輪とした調査・研究活動を通じて、九州経済の発展に寄与していく。

（1）自主研究事業

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。最近では、平成 25 年度に「農業新時代」、26 年度に「都市再構築」、27 年度に「中核企

業」をテーマとして研究した。第 50 回目となる平成 28 年度も、引き続き九州・山口においてタイムリーで重要なテーマを設定して、白書を刊行する。

②月報等定期刊行物の発行

「九州経済調査月報」は、九州・山口の経済動向を見据えながら、毎月テーマを設定して刊行している。平成 28 年度は、4 月号からデザインを一新して、より見やすくするとともに、さらに地域経済の実態把握に力を入れ、創立 70 周年記念事業とも連動しつつ、景気動向や調査レポート等、会員ニーズの高い情報を提供する。

「データ九州」は、当会オリジナルなデータ情報として活用されている。毎年度 4 回刊行しており、月報と同様に平成 28 年度からデザインを一新して、海外進出企業一覧、設備投資一覧（上期、下期）などの資料集を刊行する。

「図説九州経済」は、九州経済の概要を図表や地図情報、データで解説する資料として、毎年度 1 回刊行している。平成 28 年度も、正確かつ使いやすい情報を提供する。

③幹事会からの提案による自主研究

幹事会での提案を受けて、平成 28 年度の自主研究事業として「道を生かす～九州の道路ストック活用調査（仮題）」をテーマに調査を行う。東九州自動車道（北九州～宮崎間）がほぼ完成し、西九州自動車道や南九州西回り自動車道の整備も進んで、長らく“九州の悲願”と言われてきた循環型高速交通体系が、いよいよ現実のものとなった。道路ネットワークは地方創生の根幹となる地域社会の共有財産である。循環型の高速交通ネットワークを中心に、既存の道路を様々な工夫で上手く活用することが地域全体の活性化につながる。そこで、料金体系の工夫や、道路に対する規制の緩和や強化など、主にソフトの知恵と工夫で、産業や観光の活性化、生活利便性の向上、地域格差の解消、UIJ ターンの促進、交通事故の削減など、様々な効果を得られるような道路の賢い使い方、道を生かす方法を提案する。

④その他の事業

- A. 定期刊行物の発行（九州経済の見通し（当初、改訂）、新年のキーワード、等）
- B. 研究会活動への参加（国の出先機関や各県庁幹部等との意見交換会、日韓海峡圏研究機関協議会、福岡・釜山フォーラム、九州・山口地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会、等）

（2）受託研究事業

受託研究事業は、地域経済に関する調査研究の蓄積、分析スキルの向上、人脈形成等を通じて、自主研究を支えるとともに、産学官をつなぐ要の役割を果たしている。当会では毎年度、国・県・市町村からの委託を中心に、60～70 本の受託調査を実施してきた。平成 28 年度は、創立 70 周年記念事業をはじめとする自主研究事業や会員サービスに、これまで以上に力を入れることから、受託研究事業の本数を絞りつつも、引き続き地域社会のニーズに応えた研究と提言を実践していく。

(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

実践的な地域研究者の発掘と育成、九州経済の活性化に向けたアイデアの掘り起しを目的に、企業からの支援と大学との連携により、九経調地域研究助成・顕彰事業を行う。地域研究助成では、地域浮揚につながるテーマを募集し、優れた提案に対して研究費を助成する。提出された論文の中で優秀な作品については顕彰し、研究発表会にて表彰式とプレゼンテーションを行う。

3. 講演会・セミナーの開催

当会の調査結果を広く伝える説明会やセミナー、BIZCOLIでの多彩なセミナーやイベント等を実施する。平成28年度は、九州・沖縄・山口各地との連携を強化しながら、講演会・セミナー等を開催する。また、BIZCOLIで新たに女性セミナーを開始する。

(1)九州・沖縄・山口でのセミナー等	
①九州経済白書説明会	九州経済白書の刊行にあわせて、九州・沖縄・山口12都市で説明会を開催する
②九経調セミナー	各地のトピックスに合ったテーマを取り上げ九州・沖縄・山口でセミナーを開催する
(2)定例の講演会・セミナー	
①研究報告会	幹事会提案によるテーマにて成果報告会を開催する
②アジア経済講演会	ジェトロ・アジア経済研究所との共催で講演会を開催する
③調査技法セミナー	若手調査マンを対象とした調査ノウハウを伝えるセミナーを開催する
④経済講演会	我が国や九州経済の今を知る講演会を開催する
⑤九経調地域研究助成・顕彰事業研究発表会	地域研究助成事業において助成した論文やテーマ応募のあった論文のうち、優秀作品の顕彰とプレゼンテーションによる研究発表会を開催する
(3)BIZCOLIでのセミナー・イベント	
①イブニングセミナー	研究員や外部の専門家が講師を務めて多様なテーマでセミナーを開催する
②共催セミナー	会員等との共催により、時宜にかなったテーマでセミナーを開催する
③経営・スキルアップセミナー	経営の最前線において、技能アップにつながるテーマでセミナーを開催する
④地域応援セミナー	九州の特定の産業や地域をテーマにセミナーを開催する
⑤九州国立博物館応援セミナー	九州国立博物館の企画展に合わせたセミナーを開催する
⑥サイエンス・カフェ	科学者と市民が科学について気軽に語り合う勉強会を開催する
⑦文化セミナー	地域の文化、芸術に関連したテーマにてセミナーを開催する
⑧ビズコリクラブ	社会経済や文化に関する教養的なセミナーを開催する
⑨アートイベント	芸術をテーマとしたイベントを開催する
⑩女性セミナー	企業で活躍する女性社員を対象に、経済界のトップが講師を行うセミナーを開催する

4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに据え、地域経済図書館としてサービスを強化し、地域や会員のニーズに応じていく。

(1) 地域経済図書館としてのサービス	
●最新の専門書や統計書の収集・蓄積	●地域経済情報やデータの照会サービス
●書籍、映像、新商品の常設展示・企画展示等	
(2) ネットによる情報発信	
●ホームページによる情報提供	●メールマガジン“Kyushu Business Headline”の配信
(3) 講演会・セミナー会場の運営	
●自主企画によるセミナー会場としての活用	●外部へのセミナー会場の提供
(4) スキルアップのための個室空間の提供	
●マイデスクゾーン	

5. 経済団体等支援事業

地域を支える経済団体や産業に特化した団体等の事務局を受託し、引き続き運営を行っていく。

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託	事務局運営にあたり、当会の調査研究ノウハウを活かした提言や意見書の取りまとめを行うほか、同友会と九経調との共催・連携事業や BIZCOLI での同友会行事の実施など、事務局業務と九経調業務との連携を最大限に発揮した活動を行う
(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局	九州の各経済団体のトップが一堂に会する会議で、九州の最重要課題や将来展望について自由に議論する。当会理事長がコーディネーターを務めており、平成 28 年度も引き続き共同事務局を受託して計画・運営にあたる
(3) アジア半導体機構 (ASTSA) の事務局	アジアを中心とした海外と九州の半導体関連産業とを繋ぐ仲介役の任意団体である。ASTSA が開催する MAP (半導体実装国際ワークショップ: Microelectronics Assembling and Packaging) を開く
(4) 地域政策デザイナー養成講座の事務局	中堅・若手の社会人、大学院生を対象に、各界の有識者や専門家の講義を聴き、討論を重ねながら具体的な政策提案をする九州大学セミナーである。平成 28 年度も開講が予定されており、事務局の一員として講座運営を支援する
(5) 九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク (SONEQ) の事務局	九州の太陽光発電を中心とする再生可能エネルギー関連の企業群と大学や行政等が一体となり、市場拡大や産業の裾野拡大・地場企業の振興、人材育成等を支援する産学官民ネットワーク組織である。平成 28 年度は、組織としての新たな方向性を探りつつ産業振興を支援する
(6) 九州水フォーラム 2016 の事務局	世界及び九州の水問題について、その解決策を考え、情報発信をする「九州水フォーラム 2016」の開催について、イベントの企画とその準備を支援する

6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、以下の活動を行う。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 | (5) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 |
| (2) 大学への非常勤講師の派遣 | (6) 国内外の会議への参加 |
| (3) 個別テーマの講演依頼による講師派遣 | (7) インターンシップの受入等 |
| (4) テレビ・ラジオ等への出演 | |

7. 運営基盤の拡充

協会を持続的に運営していくために、会員数の維持・拡充に努めて基盤を強化するとともに、理事会、評議員会の定期開催はもちろん、幹事会と参与会を開催して地域とのつながりを強化していく。また、協会として研究能力の底上げを図るために、研究員の育成に努めていく。

(1) 会員数の維持・拡充	各種事業を通じた会員満足度の向上を図るとともに、賛助会員やBIZCOLI会員の拡大に努める
(2) 理事会、評議員会、幹事会、参与会の開催	定款にもとづく理事会、評議員会に加えて、幹事会を年1回開催し、自主研究事業について検討する。また、参与会を開催し、参与会メンバー（国の出先機関の局長等）と役員との意見交換を開催する
(3) 研究員の育成	研究員の専門性を高めるため、研修や学会活動への参加を促す。また、海外の研究機関との交流拡大に努める